

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事故概要について】

1. 事故・ヒヤリハットの別	事故
2. 体験した事例の名称	左手第4指末節骨粉碎骨折。
3. 体験した事例の中心的要素	防災訓練で使用する倒壊家屋を解体作業中、ホゾから柱を抜こうと柱を左手で保持し、掛矢で柱を下から他者が叩いたところ、保持していた手を誤って叩かれたもの。
4. 体験した事例の原因・理由	当事者が保持していた箇所なら安全だろうと考えていたがホゾに近い所を保持していた。他者は、ホゾに近いところは保持していないと考えており、叩く箇所を確認しなかった。

【体験した事例の直接的原因について】

体験した事例の直接的な原因	
----------------------	--

【体験した事例について】

1. 発生日時	平成26年8月21日 午後3時頃
2. 発生した当時の天候	晴れ
3. 発生した活動現場	屋外：屋外訓練場
4. 体験した事例の種類	他人が、回答者を負傷させた。
5. 事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）	軽傷の怪我
6. どのようなことが起きたのか（起きそうになったのか）	その他：骨折
7. 事例体験時の活動	その他：
8. （7の活動中）どのような作業中に発生したか	その他：防災訓練で使用する倒壊家屋の解体作業中。
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

○当事者A	年齢[29]歳、勤続年数[7]年、現場経験年数[7] 年、階級[消防副士長] 同様の活動 [初めて]、任務 []
○当事者B	年齢[43]歳、勤続年数[24]年、現場経験年数[24] 年、階級[消防司令補] 同様の活動 [数年に1度程度]、任務 [隊員]
○当事者C	年齢[65]歳、勤続年数[]年、現場経験年数[] 年、階級[] 同様の活動 [], 任務 [その他:市職員]
○その他(当事者が4人以上の場合)	

11. 事例発生時の経過。

	誰が(何が)	なにをした	その他・備考など
経過1	当事者A	倒壊家屋の柱を手でホゾから抜こうとした。	
経過2	当事者B	倒壊家屋の他の箇所を解体していた。	
経過3	当事者C	Aの柱が抜けないのを確認。	
経過4	当事者C	掛矢で抜くと判断。	
経過5	当事者A	柱が倒れないよう柱を保持。	
経過6	当事者C	掛矢で抜く。	
経過7	当事者A	保持していた左手を掛矢で叩かれ負傷。	
経過8			
経過9			
経過10			
経過11			
経過12			

【その事例発生時の状況について】

○事故の場合 :事故が起きたのはどうしてだと思うか？

○ヒヤリハットの場合:ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

危険情報を把握、予見できなかった。 集中力、注意力がなかった。 他隊(員)との連携活動がうまくいかなかった。 他隊(員)から適切な注意を受けられなかった。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	いいえ
・活動終息(鎮火等)や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	はい
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	いいえ
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d. 心身の不調があった。

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった（寒かった）。	はい
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）	はい
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	はい
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

--

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

市職員との作業であり、作業工程をお互いに確認しなかったための事故であるため、今後は確認するように努めた。

○装備・資機材の対策について

特になし。

○活動環境の対策について

顔のつながりが薄い中での作業であるときはなおさら作業工程を確認するようにした。

○指揮・情報伝達の対策について

現場活動時にも起こりうる事故なので隊間で事故の状況確認をした。

